

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターむつみ		
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 24人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動内容の実施	毎月発行しているセンターだよりと合わせて書面で保護者に活動のねらいや目的を伝えている	活動中のこども達の様子をHPで配信し、保護者に視覚的に伝えていきたい
2	地域園先の交流保育(移行予定のお子さん)	地域園へ移行がほぼ確定のお子さんを対象に継続で実施。移行後、新しい環境で安定して過ごせるよう取り組んでいる	園の先生方との関わりの時間を多く持てるよう本児との距離感を意識し、時に助言を行う
3	同一敷地内に放課後等デイサービスがあり、外出時の応援や行事等の協力など職員間の連携が取れている	両事業の行事等、活動内容を共有しあえる、応援しあえる職員間の環境づくりに努めている	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	臨時職員への情報周知不足	臨時職員は勤務日数・勤務時間もそれぞれ異なる。全体で周知する内容は周知できている(連絡ノート活用)が、お子さん一人一人の支援内容等細かな部分の情報を伝えきれない。	個人情報管理を徹底しながら支援に必要な部分の情報を共有していきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センターむつみ					公表日	2025年 3月 15日	
		利用児童数				2025年3月1日 現在36人	回収数	33人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4	1	2	立地的なものもあるので、最低限度のスペースかなという印象 遊戯室や園庭がもう少し広いと良いと思う	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		2	こどもの人数に合わせた配置だと思いません	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1		1	1日の活動等、視覚で伝えられこども達も内容が入りやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	1			清潔感を感じる 活動に合わせた空間が作られていると思う	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2	1	1	支援計画の中にこどもの特性にあったものがあるため 発達段階に合わせた対応方法を保護者にも教えてほしい	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			2	内容と実際を照らし合わせると合っていると思う	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33				保護者ニーズが、しっかり取り入れられている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		3	分かりやすく設定されている	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31			2	懇談会時に説明を受け、計画に沿って支援を受けていると感じた	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	3		7		入所説明時に明確に周知していく
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	29	1	3		他の園と交流保育が実施され良い経験ができてくる 他の園に出かけた際の様子を共有されると嬉しい	他の園と交流の姿を連絡帳にて記載することを徹底していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1		1	分かりやすく説明を受けました	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33				内容がわかるまで、しっかり説明を受けた	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	2		3		情報の発信方法を検討する
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	31	1	1		連絡票や電話等で連絡を受けた またバス乗車前や園に向いた時に、 しっかり伝えられています	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33				保護者面談等の場で話す機会があります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31		1	1	いつも親切 共感が無いと感じたことはない	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	4		4	保護者同士の交流は実施されているが、 きょうだい同士は不明 一つ一つ楽しめるようだったり、相談 しやすい環境を作っていただいています	今後、きょうだい同士の交流内容を再検討したい	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1			その場で回答もらえなかった内容も、その日の内や数日で対応していただいています		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1		連絡帳を活用している	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	4	3	毎月センターより通信が発行	開設初年度の為、今後事項評価を公表予定
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1		入所説明会時に説明があった	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	3	7	毎月、避難訓練を実施している	訓練時の様子等、連絡帳にて知らせていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2	6	実際に備蓄品を見たことがない 訓練時の様子を教えていただいた事があります	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	3	いろいろな事を想定し安全を確保していただいています	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32		1	怪我をした場合、詳しく状況の説明を受けた	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32		1	子に合わせた支援があるため安心できる 不安な表情は最初だけで、あとは安心感であふれています 不安を口にする事が多いので判断が難しい	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32		1	嫌がることなく送迎バスに乗っています バスが見えると満面の笑みを見せてくれます	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33			満足しています 子どもが楽しく通えているので感謝はありません	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援センターむつみ	公表日	2025年 3月 15日
------	----------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	2	活動に合わせてスペースの確保を取っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	1	人員配置基準4対1をクリアしており、月の平均で3対1配置を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	1	視覚的にわかりやすい絵カード、写真を用いて支援を行っている	歩行に不安のあるお子さんの為に園庭に出る階段の場所にスロープがあると良い 情報伝達の放送設備があると良い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	2	集団で体を動かす場所には、空気清浄器を設置。エアコンのフィルター清掃もこまめに実施している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	24		本人主体で部屋を移動したり、児の様子みて安心できる場所で過している	気持ちをクールダウンできるお部屋があると良い
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	1	日々のミーティングの他に不定期で話し合う場を設けている	未記入5 臨時職員は、話し合う時間が取れない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	/	/		開設初年度。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21		日々のミーティングの他、療育の中で気づきを話し合える環境となっている	未記入3
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		開設初年度の為、実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24		年間計画の中で法人主催の研修やオンライン研修等を受講している	専門的な部分の学びがあると嬉しい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24		2025年1月HPIに公表済み	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21		ツールとして発達検査を採用しており発達を踏まえながら立案、提案を行っている	未記入3 臨時職員が個々のお子さんの支援計画内容を知る機会がない
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21		療士とのカンファレンス、Drによる心理指導を行っている	未記入3 臨時職員が個々のお子さんの支援計画内容を知る機会がない
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21		現場でどのような支援が行われているのか日々ミーティングでも共有を行っている	未記入3 臨時職員が個々のお子さんの支援計画内容を共有することが難しい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21		ケース記録、月案、評価表などわかりやすく確認できる書類を作成している	未記入3 臨時職員が個々のお子さんの支援計画内容を知る機会がない
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21		保護者は本人の事だけでなく、家族や兄弟についても困り感があれば、いつでも相談できる環境を整えている	未記入3 臨時職員が個々のお子さんの支援計画内容を知る機会がない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21		課題設定ごとに担当があり、主に立案、反省を行っている	未記入3 臨時職員は変則勤務の為、共有が不十分になってしまう日もある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21		年間計画を作成し、支援の提供を行っている	未記入3 臨時職員は変則勤務の為、共有が不十分になってしまう日もある

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	個別では自立課題や身辺自立、片づけなど。集団ではグループ療育や音楽遊びを始め設定遊びを行っている	未記入2
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	朝礼で療育内容について流れの確認やねらいなどを共有している	未記入1
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	ミーティングで活動の反省のほか、月末には課題ごとに反省を記している 臨時職員は振り返りの反省など話し合いに参加することが難しい	未記入3 臨時職員は、話し合う時間が取れない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	月案、日案、ケースなど状況に合わせた記録を作成している	未記入3 臨時職員は、話し合う時間が取れない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	半年に一度評価、面談を実施。保護者に丁寧に説明を心がけている	未記入2
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	上司が参加。施設でのこどもの姿を把握し迅速な対応ができるよう関係機関と情報の共有に努めている	未記入3 臨時職員への情報の共有が難しい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	三河青い鳥療育センター、嘱託医師、市役所、相談事業所等で連携を取っている	未記入1
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	併行や移行できるおこさんの情報を関係機関と連携し、移行園との交流保育などを行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	就学の検討会の場で情報の共有を行っている	未記入3 臨時職員への情報の共有が難しい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	19	他の児童発達支援センターとは常に連携し、地域の事業所へはパンフレットを配布し、今後地域全体の質向上の研修等を計画予定	未記入5 センターとしての役割等、職員への周知不足がある
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19	センター主催の研修や専門職等からの助言をもらうなど、可能なかぎり職員を参加させている	未記入5 センターとしての役割等、職員への周知不足がある
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	19	自立支援協議会への参加は難しいが、資料等をもらい情報の共有は行っている	未記入5 センターとしての役割等、職員への周知不足がある
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24	交流保育を実施し、事業所では経験できない遊びや他児との関わりで良い刺激を受けた	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24	連絡帳の他に送迎時や電話、行事の際に細かく連絡を取り合っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	クラス懇談会を実施。ふだん関わる事が少ない保護者の交流、情報の共有に努めた	未記入1	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	入所説明会時に説明。しおりを作成し丁寧に説明した	未記入1
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	面談時に家族の思いなど何うよう努めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	計画の説明時、丁寧に分かりやすく説明するよう意識している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	相談を希望される保護者に対して、臨床心理士等が助言等を行っている	未記入1

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	保護者会が企画する行事に際して、小さなお子さんの託児など安心して活動に参加できるよう支援した きょうだい支援については通信でお知らせ等をしている	未記入1
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23	こども達が安心して遊べる環境に迅速に対応した	未記入1
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	毎月センター便りを発行。また活動や行事の様子をHPで配信	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	個人のケースファイル等は施錠できる書庫で保管。配布物も複数担任で確認。定期的に職員間で周知徹底に努めている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	外国籍で日本語が苦手な保護者に対して英語で情報伝達を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	24	開所前に施設見学を実施。 地域福祉センター主催のイベント等に協力した	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	感染症に関しては看護師から通信等で配信。 防犯については不審者訓練等を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24	地震や火災発生を想定し定期的に避難訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	入所説明会の場で内科健診時の問診票等で確認。また、てんかん発作等対象のお子さんには看護師が詳しく聞き取りを実施している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24	マニュアルの作成と対象のお子さんの指示書、献立内容の確認を適時実施している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	毎月避難訓練を実施	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	センターたよりに訓練日時を記載するなど周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	ヒヤリハットの事案が発生した当日に職員間で情報の共有。法人内で発生したヒヤリハット内容も月末に共有し再発防止に努めている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	虐待防止委員会の開催と虐待防止チェック表を活用し虐待防止に努めている	未記入2 オンライン研修以外の研修があると良い	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	身体拘束の有無について業務日誌に記載。またお子さんの姿を保護者と十分に協議し適切な支援に努めている		